

熊本市議会
[市民連合]

みなさん、こんにちは
市議会だよりです

2015年春号
(通算 No.192)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
[議員室] TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第1回
定例会

27年度の予算規模(一般・特別
企業会計) 5,907億8千万円余
桜町地区再開発事業が実質的にスタート

第1回定例会は、2月16日(月)から開催され141議案を可決・承認し3月5日(木)に閉会しました。予算案件では、補正予算および一般・特別会計当初予算案を審議し、計5,907億8,041万円の予算を可決しました。結果、新年度の予算規模は、一般会計2,962億1,000万円、特別会計2,120億5,878万円、企業会計825億1,163万円。予算39件以外では、条例45、人事15、意見書4件等を可決しました。



▲桜町地区開発事業やMICE推進事業、熊本城ホール整備などの予算が措置された

大西市長が予算編成を説明

2月16日の開会日、大西市長は冒頭、「桜町地区再開発・熊本城ホール整備事業」の進捗状況、「熊本市市民病院の建設着工延期」などの報告を行いました。また、新年度予算編成にあたり、重点項目として「熊本版地方創生・地域経済活性化の推進」「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」「行財政改革計画の推進」等についての説明がありました。

新年度予算の主な事業内容は以下の通りです。

- 【総務部門】
 - 防災情報伝達体制整備事業 (4億1,477万円)
 - 電子入札システム導入経費 (5,284万円)
- 【企画振興部門】
 - 総合行政情報システム最適化及び社会保障・税番号制度システム対応経費 (22億9,970万円)
 - 新総合計画策定経費 (1,450万円)
 - まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等経費 (1,000万円)
- 【健康福祉子ども部門】
 - 臨時福祉給付金等給付事業 (16億9,880万円)
 - 児童育成クラブ施設整備経費 (5億7,802万円)
 - 生活困窮者自立支援事業 (6,350万円)
- 【環境部門】
 - 再生可能エネルギー等導入推進経費 (1億420万円)
 - スマートハウス普及促進事業 (1,000万円)
- 【農水商工部門】
 - 企業立地促進関連経費 (5億7,022万円)

- 植木地域農産物の駅建設経費 (1億8,688万円)
- 桜町・花畑周辺地区賑わい創出事業 (1,300万円)

【観光文化交流部門】

- 花火大会開催経費 (1億円)
- MICE推進事業 (5,810万円)
- 熊本城ホール整備経費 (3,800万円)

【都市建設部門】

- 熊本桜町再開発株式会社貸付金等 (20億1,000万円)
- 桜町地区再開発事業 (9億4,700万円)
- バス路線網再編関連経費 (4,500万円)
- 市電延伸検討調査費 (1,300万円)

【教育部門】

- 龍田西小建設事業 (16億4,600万円)
- スクールソーシャルワーカー等配置事業 (2億4,406万円)
- 中学校空調設置設計経費 (5,500万円)

【企業会計】

- 上下水道事業会計
- 未普及解消築造事業 (76億9,930万円)
- 交通事業会計
- 市電ICカード機器導入経費 (1億7,242万円)

【一般質問】

市民連合からは田尻将博議員が登壇し、「市長の政治姿勢と市政運営」「市民連合の政策要望」などについて質問を行いました。

採択された意見書

- ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書
- ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書
- 「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書
- 農業の発展に必要な生産基盤整備の拡充を求める意見書
※なお、市民連合提出の下記の意見書については不採択となりました。
- 集団的自衛権行使容認を撤回し、法制化を進めないことを求める意見書
- 農業解体をやめ、TPP交渉からの撤退を求める意見書

常任委員会 予算決算委員会 報告
各分科会

総務委員会 田尻将博
西岡誠也

消防署の5署体制に向けて北消防署の建設を行う予算として5億2千万円と、城南出張所の建設費用2億5千万円が計上された。

組織再編では、トップマネジメント体制を強化し、各局との政策調整や連携を図り、より効果的な行政運営を行うため、「市長政策総室」を設置。また、首

都圏におけるシティセールス活動を強化するため、「東京事務所」と「企業立地推進東京出張所」の統合など機能を拡充。

要請していた臨時職員・嘱託職員の免選改善として、通勤手当と報酬の引き上げを新年度から行うこととなった。通勤手当実費支給については、引き続き要請していきたい。

企画教育市民委員会 東すみよ
上田芳裕

企画振興局・教育委員会の「平成26年度補正予算」と「平成27年度当初予算」約316億6千万円余に関する事業を審議した。企画振興局では「システム維持や開発設計」に関連する43億円余を審議するとともに、新年度は大西市長の下、新たに「新総合計画・人口ビジョン・地方創生総合戦略・連携中枢都

市圏ビジョン」という今後の市政運営の柱となる計画が策定される。また教育分野では、特別支援学校や龍田西小の建設経費、中学校へのエアコン設計経費、博物館リニューアル工事経費等が大きな事業として審議された。中学校エアコンがまず取り組まれるが、小学校への早期設置へしっかりと対応していきたい。

福祉子ども委員会 福永洋一

委員会では、補正予算案6件・予算案6件・条例案12件等の審議と、「第3次地域福祉・地域福祉活動計画(案)」「第6期はつらつプラン」等についての報告があった。

予算関連の審議では、生活困窮者自立支援事業について、正規職員の配置や拡充を要望。また、障がい者の移動支援に関わ

る制度の改善と人材育成、児童育成クラブで働く職員の賃金と、保育の質の改善等を求めた。

さらに、虫歯対策として、フッ化物洗口事業よりも、3歳児検診時の虫歯罹患率が政令指定都市20市中、最下位という現状を踏まえ、母親への食育指導等の強化の必要性を訴え、各課連携しての取り組みを要望した。

環境水道委員会 家入安弘

環境水道分科会での審議審査として、再生可能エネルギー等導入推進経費について、花園総合出張所に設置される太陽光発電設備については、水害時の浸水に対応できるよう、蓄電池の設備場所の検討を要望。また太陽光設備が一般家庭に普及するよう啓発に努めてほしいと要望が出された。

再生資源物の回収助成事業は、予算額が年々減少傾向にあるが、本事業はゴミの減量やリサイクルへの意識啓発に資すると共に、助成金や再生資源物の売却益など、町内自治会などの活動資金としても活用されていることから、登録団体の増加に向け、さらなる制度の周知徹底に努めてほしいという意見要望が出された。

経済委員会 田辺正信

経済部門では、企業立地促進条例に基づく助成や、企業誘致活動に要する経費、県民百貨店等の閉店に伴う再就職支援としての、雇用相談窓口の設置や、合同就職面談会の開催経費、県民百貨店等の入居テナント移転に関わる助成も含めた、商店街の空き店舗対策に要する経費など、また、観光文化交流部門で

は熊本城ホールの整備に向けた関係経費を論議した。

特に桜町の再開発に関連して、2月28日に閉店した県民百貨店関係者の再就職支援について、各議員から指摘がなされ、その中で市民連合として、対応を求めてきた高齢者の雇用がスムーズに進んでいない状況を指摘し、今後の対応を強く求めた。

都市整備委員会 田上辰也

生活道路として定着している私道の市道化が促進されるよう、認定要件の緩和を検討してもらいたいと要望。また、民間建築物アスベスト改修や建築物耐震化促進事業については、補助申請件数が想定を下回っているため、補助率の拡充などを検討するとともに、事業の重要性を広報周知し、制度活用を促してもらいたいと要望した。

市電の延伸はこれまで議会をはじめ、さまざまな場で提案されてきた経緯もあり、新市長の公約に基づく検討に期待したいと意見を述べた。

市電のステップが高くて乗り降りに不自由するとのお年寄りの声を届けたが、改良は進んでいるかと質したことに、来年度は更に5両を改善して終了との答弁であった。

みなさん こんにちは

熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ




私たちの会派「市民連合」は、みんなで議論して「政策要望書」を作り、大西市長に提出しました。そして一般質問に…

ごあいさつ いっしょに創ろう・活力ある熊本市を目指します

4年間最後の定例議会が終わりました。いよいよ政令市初の選挙区選挙に突入します。

選挙は県議選の日程と同じ、4月3日告示、12日が投票日となります。

私ども西区は定数6人に8人が予定し激しい活動が展開されています。西区はご承知の通り、どの選挙区よりも人口が少なく、定数も少ない選挙区であります。

西区は北側に金峰山を中心に西山山麓

が広がり、3分の2が山地です。住居は鹿児島本線を基軸にその沿線に発展し、人口密度は東高西低となっています。

西区は新幹線の熊本駅、上熊本駅、新熊本港など陸と海の玄関口を抱える区でもあります。長年にわたり熊本市は東へ東へと都市化が進み、鹿児島本線に遮られた西区は優良農地が多く熊本市の食糧基地でもあります。下水道はじめ公共工事等の遅れもあり、まだまだ社会資本の充実は途中にあります。

私も6期24年の議員として、本市の発展、地域の発展に精力的に活動を展開してまいりました。そして今回、さらなる挑戦を決意し活動を展開しています。

今回、私は地域の皆さんと一緒に「暮らして良かったあ… いっしょに創ろう活力ある熊本市」を目指し、そして持続可能な政令市熊本の発展に向けて「市民連合」の仲間と政策を作りました。

独自の議会だよりです。今後とも広報紙としてお届けしたいと思っております。

一般質問

大西市長の政治姿勢と政権公約について質す 市民連合の「政策要望書」の中から主な内容も

今回の質問は4年間の市政を執行する市長の政治姿勢や、私ども市民連合が市長に要望した政策要望の具現化、さらに市政を取り巻く諸課題について、市長並びに関係局長に質問、答弁を求めました。

その主な内容について報告します。

【政治姿勢と政権公約について】

選挙期間を通して、今後の政令市熊本の牽引市長として目指すまちづくり「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」そして「聞く姿勢・話す姿勢・動かす市政」の言葉の誕生も含めて、市長の政治姿勢・市政運営の強い思いを求めた。

回答 県議時代から積極的に住民と接し、住民の声をよく聞くよう取り組んできた。市民の先頭に立って市民の要求、提案を実現させるために、市役所の徹底的な意識改革と機能強化を実行し、地域主義を実践し、国の構造を抜本的に変えていく「地域主義」の考えを私のマニフェスト（政権公約）で市政を運営し、市民の豊かさを実現させたい、と決意を述べられた。

【市民連合の政策要望の具現化】

政策要望書からの主な質問

① 業務における専門性と政策立案能力に加え、技術力の継承と向上が求められる。専門スタッフの計画的な人材育成を早急に図り、特に専門性が求められる福祉分野では福祉職採用を拡大すること。

回答 指定都市を担う職員の人材育成を推進、社会福祉職の専門性確保の

点からも計画的に採用する。

② 市民・職員から信頼される管理職登用は、短期的な評価の試験制度でなく、長いスパンでの人事評価を重点に行うこと。また、女性の管理職登用にも力を入れること。

回答 選考昇任制度を一部導入し、人事評価を重視した登用、女性管理者の登用は数値目標を掲げ取り組む。

③ 仕事の煩雑化に伴い、職場内の連携が希薄になり個人任せになっている傾向にある。そのことによるメンタルヘルスや不祥事も見受けられるため、職場での連携と相談体制の充実を行うこと。

回答 職場内においてミーティングや朝礼等を積極的に行い、より風通しの良い働きやすい職場作りをめぐる。

④ 正規職員から非正規職員への切り替えは、不安定な雇用労働者をつくることで様々な問題があることから、将来を見据えた雇用のあり方を検討すること。

更に非常勤職員の処遇改善を行うこと。

回答 必要な部門では業務や役割を明確化した上で雇用し、再任用職員の配置とも大きく関わり総合的に取り組む。非常勤嘱託員の処遇改善についても継続的に取り組む。

⑤ 指定管理者制度の運用にあたっては、低価格だけでなく、これまでの運営基準の維持、技術の蓄積・継続性の確保、平等性の確保、安全性の確保、公正労働基準が図られるよう選定を行

うこと。また、施設の特性に応じ、非公募や5年以上の指定期間についても検討すること。

回答 事業者選定にあたっては、価格のみではなく、外部委員を含めた選定委員会による総合評価方式を採用、様々な角度から、公正な選定に努めている。指定期間については、施設の特性や専門性、国の動向等も見極めながら精査し、サービス水準の向上につながるよう適切な運用に取り組む。

【市政を取り巻く諸課題について】

絶大な市長の権限で、市民病院建て替え凍結、MICE施設整備の精査と再検討、熊本駅市電乗り入れ計画の方針転換、復活再調査は熊本市電の延伸検討、市立中学校の全普通教室にエアコン設置の調査設計の計上、花火大会など目新しい事業が始まり、市長の政策変更の英断が目立ち質問を行った。

【熊本駅周辺の街づくりについて】

回答 都市基盤の整備を進め、だれもが移動しやすく暮らしやすい持続可能な都市の実現を目指す。駅前広場は開放的な駅前広場を十分に確保する、



▲JR熊本駅前広場と周辺のまちづくりが今後の課題となっている。



▲会派を代表して質問に立ち大西市長の考えを引き出す。

駅ビル開発で副都心的な街づくりが検討されており大いに期待している。賑わいのある熊本駅周辺のまちづくりを実現し、市民の皆様の期待に添えるよう事業を進める。

【市民病院建て替え凍結】

市民病院建て替え凍結で南館の耐震と北館の老朽化があり、どういう条件が整えば凍結解除となるのか市長に回答を求めた。

回答 209億円と建設費が膨らみ、病院経営が厳しくなることで凍結した。

自治体病院の将来構想は厳しい状況下であり、県・国の指針が示され、市民病院としての新たな改革プランの策定に取り組む。

【西消防署の将来構想について】

新幹線開通や在来線の高架化、万日山トンネルの開通で西区の交通は一段と便利になり、南北へ向かう野口清水線の完成、また将来は池上インターを通して西環状道路整備が整備され、交通結節の拠点となる万日山トンネル付近が最高ではないかと提案質問した。

回答 西消防署の耐用年数に鑑み、当面は現在の場所で活用し、将来的には西区内に設置したい。

設置場所については提案の場所も含めて、様々な角度から今後研究したい。

観察してほしい。(S生)

熊本市は政令指定都市に移行して今年4年目を迎える。4月には政令市として初めての市議会議員選挙が、県議会議員選挙と同時に終わる。政令市になると議員の選挙は法律に基づいて区ごとの選挙となる。これまでの熊本市全区だったのが、これからは区ごとになるため、選挙区は狭くなる。ただ心配なのは有権者の選挙行動だ。例えば中央区に居住する方が「今まで東区の〇〇さんを応援していたので」と、〇〇さんの名前を投票用紙に書くこと無効票となる。いわゆる死票となる。自分が居住する区から立候補する人を選ばなければならぬ。さて、選ぶとすればどういふ物差しで選んだらいいのか。市議会は行政の施策や予算などをチェックすると共に、政策を立案して議会で提案することが議員の任務なので、候補者の人間性、考え方、これまでの日頃の活動などを見ながら、市民の目線で暮らしや地域の要望、問題点などを市政に反映してくれるのか、年4回の市議会の報告をしていくのか、言わば選挙は有権者が候補者に成績表をつけることと言えよう。有権者の皆さんの、候補者を選択すること心が問われることになる。候補者は選ばれるために、これまでの生き方や所信表明、政策を示さなければならぬ。4月3日告示、同日12日投票まで、あなたの区から立候補する人をよく